

ウポポイ（民族共生象徴空間）の開設に向けた 当社のPR活動について



2 0 2 0 年 4 月 9 日
北 海 道 電 力 株 式 会 社

・当社は、白老町において開設を予定している「**民族共生象徴空間※1**」（愛称：ウポポイ）の「**官民応援ネットワーク※2**」に参画しています。

・当社およびほくてんグループは、北海道に根ざした企業として、アイヌ文化振興の取り組みや、北海道の食と観光等の魅力を国内外に発信するウポポイをゼンリョクで応援してまいります。

※1 2020年5月に白老町ポロト湖畔に開設を予定している「国立アイヌ民族博物館」等、アイヌ文化に関するナショナルセンターの名称。「ウポポイ」は、「（おおぜいで）歌うこと」の意。

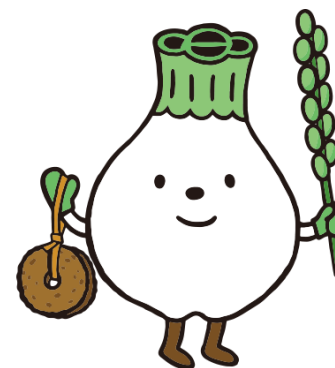
※2 「民族共生象徴空間」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的に、2016年11月9日に設立。

<「ウポポイ」イメージ図>



提供：文化庁（本画像はイメージ図です）

<「ウポポイPRキャラクター トウレツポん」>



<名前の由来>

- ・turep (トウレブ) : アイヌ語で「オオウバユリ」の意。
- ・po (ポ) : アイヌ語で「小さいもの」というニュアンスを付け加える語。
- ・ん : 結びに「ん」を付け加えることで呼びやすく可愛らしい音の響きに。

2. これまでのウポイ P R の取り組み

- ・当社へご来訪されるお客さまに対して、ウポイを P R するための取り組みを実施しています。

アイヌ工芸品リレー展示

2019年1月18日～2月8日

本店ビルにアイヌ工芸品
(木彫、儀礼具など) を展示



アイヌ語を用いた船名の 石炭輸送船模型の展示

2019年5月14日～6月28日

本店ビルにアイヌ語を用いた
当社石炭輸送船の模型を展示



ウポイを紹介する専用 ブースの設置

2020年2月3日～

本店ビル・室蘭支店にウポイを
紹介する P R スペースを設置



・今後も様々な機会を通じて、ほくてんグループとして広く皆さまへ積極的にウポポイをPRしてまいります。

ホームページでアイヌ語にゆかりのある地名を紹介

2020年4月9日～

アイヌ語に由来する、当社の発電所等がある地名について紹介

北海道大好き！～アイヌ語ゆかりの「北海道の地名」(第1回)

当社は、白老町で開設を予定しているアイヌ文化復興等に関するナショナルセンター「民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)」の「交流促進官民連携ネットワーク」に参画しています。
先住民族が使っていたアイヌ語を起源とした地名が多く残る我らのふるさと北海道、北海道で使う電気を生み出している発電所所在地の地名などについて、その由来をご紹介します。どうぞお楽しみに。
第1回目は、札幌市郊外に水力発電所がある藻岩山です。

藻岩(モイワ)
藻岩山の山麓に当社の藻岩発電所が設置されています。
豊平川流域の発電所で一番下流にある発電所で、国道230号線からも、3条の鉄管が望めるほど、市街地の近くにある発電所ですので、ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？
発電所の上流に「藻岩ダム」を設置し、そこから水路で発電所まで水を導く、「ダム水路式の発電所」であり、97.1mの落差を水が流れる勢いで水車を回して発電を行っています。その出力は12,600kWです。
この藻岩山の標高は531m、決して高くないものの北海道自然100選に選ばれた美しい山、国の天然記念物に指定されている原始林があり、四季折々の表情を見せてくれます。

名刺・社有車にウポポイ応援のロゴを貼付

2020年4月中旬～

社員の名刺や社有車などにウポポイ応援のロゴを貼付

＜社有車のロゴイメージ＞



＜名刺のロゴイメージ＞



- ・今後も様々な機会を通じて、ほくてんグループとして広く皆さまへ積極的にウポポイをPRしてまいります。

北海道電力・会員制Webサイト「エネモール」でコラムを掲載

2020年5月下旬以降（掲載開始予定）

当社の会員制Webサイト内で、ウポポイのお勧めスポットを紹介



ほくてんアソシエ「唐松石鱈」にウポポイパッケージを採用

2020年5月29日販売開始予定
（ウポポイ内のミュージアムショップにて販売予定）
ウポポイのロゴやPRキャラクターをパッケージのデザインに採用

